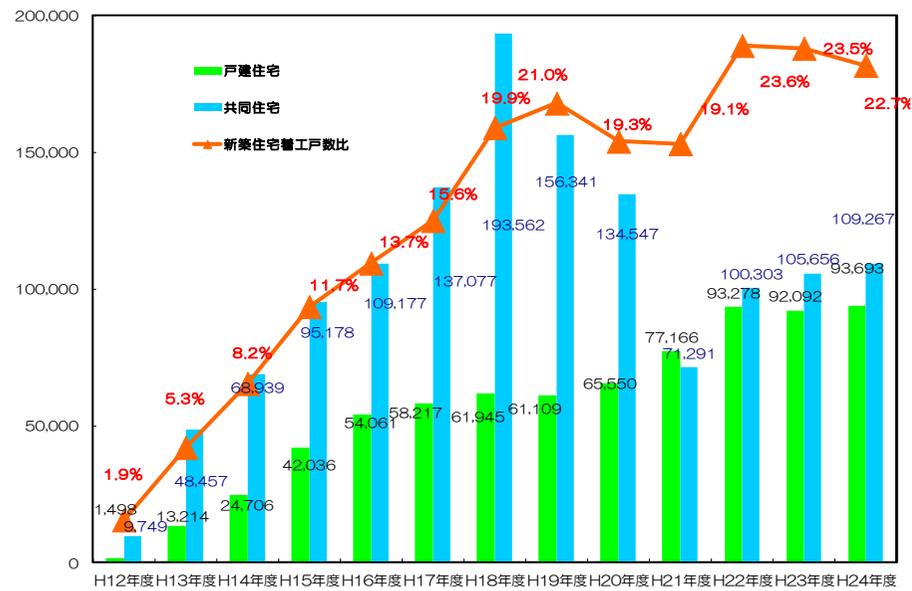


住宅性能表示制度（新築住宅・既存住宅） の概要・実績について

住宅性能表示制度の概要 (新築住宅・既存住宅)

	住宅性能表示制度 (新築住宅)	住宅性能表示制度 (既存住宅)
評価項目	<p>10分野32項目について等級等による評価を行う</p>	<p>7分野27項目について等級等による評価を行う</p>
共通概要	<p>住宅性能表示制度とは、住宅の基本的な性能について、</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 共通のルール (国が定める性能評価項目・性能評価基準) に基づき、 ● 公正中立な第三者機関 (登録住宅性能評価機関) が評価し ● 評価書が交付された住宅については、迅速に専門的な紛争処理が受けられる。 	
運用開始	平成12年度から運用開始	平成14年度から運用開始
審査方法	<ul style="list-style-type: none"> ・設計図書等の審査 及び ・施工現場での検査 (建設住宅性能評価を受ける場合) 	現況検査等
必須項目	<p>一戸建て : 必須 9分野21項目 (※4分野5項目) 共同住宅等 : 必須 9分野28項目 (※4分野7項目) ※H27年4月より施行</p>	<p>一戸建て : 必須1分野1項目 (現況検査) 共同住宅等 : 必須1分野1項目 (現況検査)</p>
その他	請負契約及び売買契約における「契約みなし規定」あり	「契約みなし規定」なし

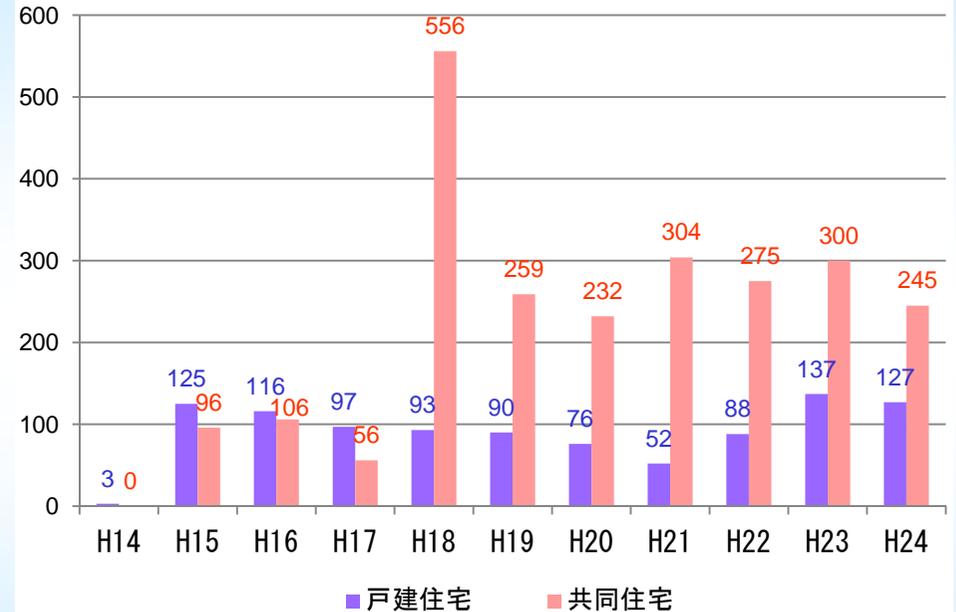
●新築住宅 住宅性能表示制度の実績（H12年度～H24年度）



- ・平成24年度の実績は20万戸超。(※3)
- ・新設住宅の約23%が住宅性能表示制度を利用している。

(※3) 設計住宅性能評価書の交付ベースで集計

●既存住宅 住宅性能表示制度の実績（H14年度～H24年度）



- ・平成24年度の実績は約370戸。(※3)
- ・制度開始からの累計実績は約3,430戸。(※3)

(※3) 住宅性能評価書の交付ベースで集計

【参考】住宅性能表示制度の評価項目一覧

資料1

住宅性能表示制度の評価項目		新築住宅		既存住宅
		平成27年3月 まで	平成27年4月 以降	
①	構造の安定に関すること	●	●	○
②	火災時の安全に関すること	●	○	○
③	劣化の軽減に関すること	●	●	なし
④	維持管理・更新への配慮に関すること	●	●	○
⑤	温熱環境に関すること※1	●	●	なし
⑥	空気環境に関すること	●	○	○
⑦	光・視環境に関すること	●	○	○
⑧	音環境に関すること	●	○	なし
⑨	高齢者等への配慮に関すること	●	○	○
⑩	防犯に関すること	●	○	○
⑪	現況検査により認められる劣化等の状況に関すること	—	—	●

(参考)長期優良住宅	
新築	既存 (案)
■	■
—	—
■	■
■	■
■	■
—	—
—	—
—	—
■	■
—	—
—	—※2

注) ●は必須項目、○は選択項目

※1 平成27年4月以降は「温熱環境・エネルギー消費量に関すること」

※2 別途インスペクションを行うことは必要